

杭州唐雲藝術館において馬驥・王荻地芸術展が開催されました。浙江省政府要人、中国美術学院の画家先生方、中国著名画家、美術評論家や杭州の著名人梁平波、肖峰、劉江、卓鶴君、孔仲起、王冬齡、馬鋒輝、駱獻躍、周瑞文、丁茂魯、錢小純氏等が開幕式にご出席され、大盛況でした。

美術館関係者の反応は、日本で研究された滌墨による表現法に新鮮な感じの印象を受けたと好評でした。

〈馬驥・王荻地芸術展〉  
—水墨の夢幻・花の讃歌—



開会式テープカット

馬驥水墨画会会員応援団と  
著名洋画家宋韌(前列中央)

日時：2009年4月23日(木)～5月3日(日)  
主催：浙江省美術家協会 浙江省对外美術交流協会  
杭州西湖風景名勝区管理委員会  
協力・(承辦)：唐雲藝術館 馬驥水墨画会全国本部  
後援：(社)日中友好協会 日中文化交流協会  
美術報(中国) 世界芸術網(中国)  
USA・国際中国美術家協会  
場所：唐雲藝術館 中国浙江省杭州市  
杭州市南山路45号



平成二十二年元旦 馬驥水墨画会 代  
副 代表 王 荻地



昨年中はひとかたならぬご厚誼  
を賜り厚く御礼申し上げます。  
新春を迎える皆々様のご多幸と  
ご健康を心からお祈り致します。  
本年も宜しくお願ひ致します。



発行所 馬驥水墨画会本部事務局、馬驥事務所  
〒340-0001 埼玉県草加市青柳三の二十一の七  
電話：〇四八（九三一）四二三二八  
<http://www.makyo.jp>

# 馬驥水墨画会報

—第17号—  
2010年1月1日

馬驥、王荻地在日芸術活動 30周年記念  
《水墨の夢幻》馬驥水墨画展  
《花の讃歌》王荻地墨彩画展

会期：2009年7月8日(水)～14日(火)  
午前10:30～午後7:30(最終日午後5:30)  
会場：松坂屋銀座店別館4階美術画廊(全フロア)  
東京都中央区銀座6丁目10番1号  
TEL：03-3572-1111(代表)  
後援：中国駐日本大使館文化部 日中文化交流協会

## 水墨画の夢幻と滌彩画の新境地 一帰国30周年記念—

### 第16回 馬驥水墨画芸術展

会期：2010年1月6日[水]～12日[火]<最終日4時30分終了>  
会場：伊勢丹新宿店本館5階=アートギャラリー

中国伝統の水墨画と油絵を学んだのち、独自の滌墨技法で、奥深い自然の姿を描き続け、日本のみならず、中国、フランス、アメリカ、イギリスなど海外の個展でも高い評価を受けている馬驥氏の16回目の個展を開催いたします。変幻自在の技法で大気、風、光、水が描かれた水墨画からは、雄大な自然の息づかいが感じられます。本展では、滌墨画に加え、様々な色彩の衝突により幻想的な滌彩画も併せた30余点を展示し、馬驥氏の多彩な芸術をご紹介いたします。



「北国の春」馬驥 2009年最新作

## ◆水墨の一滴は続く、三十年の歩み◆

馬驍水墨画会は、一九七九年に静岡市に発足し、水墨画の普及と地位向上に精力的に取り込み、一九九一年本部を首都圏に移し今日に至つております。画会は、水墨画講座（初級、研修、技法、創作）、展示会など意欲的に活動して参りました。長年に亘り厳格かつ正統な水墨画の指導によつて質の高い教育システムを作り上げております。会員達は、年齢、経歴、プロ、アマ、画界所属を問わず、相互の親睦を深め、水墨画の普及と向上に熱心に努めております。生涯学習として学ぶ方、新鋭作家を目指す方、すでに各地で水墨画の指導をされている会員も多くいらっしゃる事から、画会の研修成果が着実に実り発展しております。これは大変喜ばしい限りです。本画会の展示会は、一九九三年から「日中水墨画交流展」を6回開催し、一九九九年に著名画家北岡文雄、著名美術評論家室伏哲郎先生ご支援のもと「馬驍芸術大賞展」と名称を改め、二十一年度で第8回目となりました。長年中国駐日本大使館、日中文化交流協会などに後援して頂き、また、美術史、美術評論、書、絵画、彫刻、詩人、音楽、武術、女優等の方々による「実行委員会」の構成で開催され、常に現状に留まらず更なる発展に努めて参りました。「馬驍芸術大賞展」は、水墨画をあらゆる分野の芸術と融合させ、芸術創作への閃きをより深め、日頃の研修成果を発表する機会でもあります。

第8回馬驍芸術大賞展受賞者代表の喜びの挨拶

第8回馬驍芸術大賞展受賞者代表の喜びの挨拶



高橋由利子



藤田隆

### 馬驍水墨画会

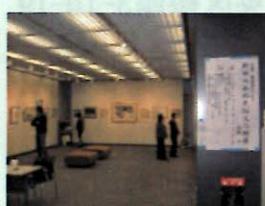
■柏木美保子  
「春秋六十五年の記」表紙絵カット



■藤間美千子個展  
平成21年2月  
京橋久保田ギャラリー



■中国の旅  
2009年4月19日～24日、「馬驍・王荻地芸術展」（杭州）応援ツアーリーに会員他25名が参加し、中国福建省夏門武夷山（左）をスケッチしたり、紹興市観光名所蘭亭（右）、武夷山九曲溪下り（右下）等中国の素晴らしい文化に触れながら、観光を満喫しました。



野田文化財展会場風景

■馬艶  
野田の無形民族文化財展  
平成21年11月27日～12月3日  
野田公民館ギャラリー（野田ホール2F）  
野田市野田163 会場の1番 94-7120-7018  
主催：野田市文化財保護委員会  
監修：野田市文化財保護委員会  
会場：野田市文化財保護委員会  
会場：野田市文化財保護委員会



■水上令子  
平成21年10月18日～24日  
ギヤラリー青羅  
「GROUPオリーブ日本画展」

■高橋由利子  
平成21年6月10日～14日  
キラリふじみ展示会議室  
「霞川水墨画研究会作品展」

### 会員活動

#### ■永田みゑ子

平成21年11月5日～10日

小さな美術館（静岡）  
「美絵水墨画グループ展」

■王荻地先生と須藤正行が  
デザインした資生堂会長  
福原義春氏の自伝が中国で  
出版された。



■馬驍先生がデザイン、  
青木保氏出版の表紙絵







大賞展作品審査  
ワシオ・トシヒコ先生と馬驥先生



大賞展開幕式で董沙具先生実演



中国の旅より会員他、紹興市魯迅故郷を見学



水上令子  
柏木泰子  
山崎重之  
山口美保子

会報編集者

原南  
口部  
小池  
方生  
石原  
鰐坂  
浅野

礼博  
清文  
則子  
るり子  
以知子  
茂子

出版等を掲載さ  
せて頂きます。  
個展グループ展  
出版挿絵、画集

新会員紹介

高橋  
由利子  
常任理事

編集後記

会員個人活動の  
情報をお寄せ下  
さい。



室伏先生の  
告別式にて。

馬驥先生が七十八才で二〇〇九年十月二十六日に永眠されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。先生には、馬驥芸術に関する論文、対談と講義も頂きました。尚、十一月二十四日に行われた「お別れの会」に馬驥・王荻地先生が画会代表として出席されました。

講報  
美術評論家  
室伏哲郎先生

馬驥芸術大賞展の発行人で第二回馬驥芸術大賞展の実行委員長を務めていただい室伏哲郎先生が七十八才で二〇〇九年十月二十六日に永眠されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

馬驥芸術は、父方の祖国・中国の水墨山水画法で墨面の濃淡変化を積極的に用いる澆墨画法が母胎。これに西欧絵画技法を加味して、さらに母方の故国・日本のわびさびの詩情との渾然融合を目指す手法に半生を捧げてきたといつても過言ではあるまい。いわば東洋山水画の伝統の輪郭線に決別した前衛個展を源流とし、西洋の表現主義的抽象の洗礼をくぐり抜け、さらに神秘の日常ともいうべき禅の悟りと魂の活力と多彩な変化を操作シユールする境地にまで到達したというところか。

美術評論家 室伏 哲郎 一〇〇〇年

### 「馬驥の芸術について」

## 馬驥水墨画会教室案内

日本の水墨画壇で活躍する馬驥（まきょう）王荻地（おうてきち）両先生から直接、指導を受けることができます。まずは伝統技法をしっかりと学び、水墨画の基礎を固めます。そして独創的な水墨画が描けるようになることを目標に、各人の個性を伸ばす方針に基づき講義を行います。馬驥水墨画会オリジナルの教材を用いた懇切・丁寧な指導は、30数年に亘り、受講生に好評を博しています。

**教室画科:** 初級科、研修科、技法科、創作科  
(各科月1回)

**受講場所:** 日本美術家連盟・美術家会館  
〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-19  
TEL: (03) 3542-2581(代)、受講日のみ

**受講時間:** 月曜日: 11時~13時、14時~16時、  
土曜日: 13時30分~15時、15時~17時

馬驥水墨画会本部事務局、馬驥事務所  
〒340-0002埼玉県草加市青柳3-21-7  
TEL: 048-931-4238 FAX: 048-931-4526  
<http://www.makyo.jp/>